



新しい年を迎えて、  
 皆様よろしくお願いたします。

## 公益社団法人移行の手続きのため臨時総会を開催

昨年度から取り組んでいる公益社団法人移行の手続きは、いよいよ最終段階を迎え、定款の変更案等について、総会での承認をいただくことが必要となり臨時総会を開催しました。10月23日、京都市内の平安会館において、委任状提出を含め246名の出席（正会員320名）をいただき第1号議案「定款変更案」、第2号議案「会費規程案」、第3号議案「役員の報酬及び費用に関する規程案」及び第4号議案「公益社団法人移行後の役員予定者名簿」が満場一致で承認されました。

その後、何度か京都府に相談をした上で、財務諸表とともに11月25日、電子申請による方法で公益社団法人移行認定申請書を京都府へ提出しました。



## 平成 22 年度 犯罪被害者等を支える府民の集いの開催

犯罪被害者週間（11月25日～12月1日）に関連して12月4日、京都市のシルクホールにおいて、ひょうご被害者支援センターのスタッフの皆さんの電子紙芝居と高松由美子さんの講演がありました。

700人の会場は満杯の盛況で熱気にあふれ、当センターのたくさんのボランティアの皆さんは、熱心な聴き手として参加してくださいました。ロビーには、一

行詩パネルが展示され趣深いものでした。このパネルは「いのちの授業」を聞いた高校生たちがその感想を一行詩にしたもので平安高校の先生が色紙に書いてくださったものです。

京都府犯罪被害者支援連絡協議会奥村正雄会長の閉会の挨拶にて終了しました。

## ●●● 支援活動状況 ●●●

(平成 22 年度)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
電話相談	フリーダイヤル	60	42	71	57	44	39	50	43	26	432
	451 - 7830	11	11	22	16	14	12	7	8	9	110
	電話相談合計	71	53	93	73	58	51	57	51	35	542
面接相談	面接相談	15	9	15	20	21	26	31	32	26	195
	うちカウンセリング	4	3	8	12	16	15	17	21	19	115
直接支援	45	34	20	35	36	29	31	34	34	298	



## ボランティアの募集・事前研修

11月27日（土）午後1時30分より全9回13コマの第13期生ボランティア事前研修が始まりました。今回は、女性10名、男性8名計18名の研修生です。50代を中心に60代から20代に亘る多彩な顔ぶれとなりました。

今回の特徴として、40～50代の女性が多い事と、定年後で再度、新たなチャレンジをされる男性方です。「新聞を見て」応募して下さった方が多く「気負わず」に参加して今後の方針を決めたいと言われ

るのが印象に残りました。

プログラムについては、巾広く必要な分野を紹介する趣旨から例年とあまり変化はありませんが急激な制度の変化の最先端をいく濃い内容を提供できるものと自負しています。

1月15日をもって終了しましたが、特別寒い冬、皆さん欠席も少なく13期生として当センターを担ってくださる日が待たれます。

## アンケート調査の実施

京都市の委託を受け、市の条例の基となる被害者のニーズを探るものとして、アンケートによる調査を行いました。

平成15年10月早期援助団体として認可を受けて以来、支援に関わった被害者は約200名となります。そのうち現在、住所が判明している方々に発送しました。アンケート発送に際し趣旨を理解し承諾された方々です。

8月20日アンケートを発送し、9月10日を回答期限としました。調査に協力いただいたのは被害にあわれた方、ご家族およびご遺族です。

被害罪種については、殺人、傷害が最も多く、次に性被害です。被害にあって困ったことは精神的被害が一番多く、次には裁判に伴う負担、仕事や就労、経済的問題と続きます。

必要とした支援について「カウンセリング等の精神面でのケア」が圧倒的で「総合的な相談窓口による支援」も多く求められました。

これらの調査の結果は更に専門家によって分析され条例作成のための基礎的資料として京都市犯罪被害者支援策研究会に提出されました。

### 府の催しに参加、協力しています。

人権啓発を深めたいと京都テルサにて、11月21日（日）京都ヒューマンフェスタが開催され、当センターは、広報ブースと犯罪被害者相談コーナーを設けました。テニスプレイヤー杉山愛さんのトークや「あのときの心の内を振り返る」体験のたくさんの証言、最後はアンパンマンショーで子どもたちが盛り上がりました。ボランティアの協力で、別室での被害者相談では、ゆっくりと話を聞くことができました。また、相談者の中には後日、当センターへの電話相談をされてきた方もありました。

必ず出展し相談コーナーを置くことが定着すると、今後じわじわと当センターへの相談者が増えることが予想されます。

### 京都府の市町村で啓発活動

京都府の市町村における犯罪被害者への理解と啓発のため府民講座が開催されています。

綾部市において、8月7日開催され、武るり子さんの講演「地域で被害者を支えるために」に続き、パネル形式でのトーク、さらに参加者の小グループに分かれてのバズセッションが行われました。一方、展示会場では5名のボランティアが参加しパネルやリーフレットにより当センターの紹介等を行いました。

木津川市においても、11月30日本津川市中央交流会館いずみホールにて、市原千代子さんの講演「子どもを被害者にも加害者にもしないために」が行われました。続いて、パネルディスカッション～いのちを大切にすまちづくり～で討議が行われました。当センターからは、2名のボランティアの協力を得てブース展示のため参加しました。



## ご寄付をいただきました。

七条警察署より12月10日、宇治警察署より1月7日ご寄付を頂戴しました。それぞれ署内で、バザーを催された成果をご寄付として持参くださったものです。日々お忙しい中、特に歳末にこのような催しをされ私どもの支援活動を応援くださるお気持ちに励まをいただき深く感謝しております。



## 吉忠ビル横にコカ・コーラ自販機

京都市内目抜き御池通に面した吉忠株式会社が、コカ・コーラ自販機を設置してくださいました。御池通と間之町通が交わる場所に、かの在原業平邸跡があります。その石碑の横に自販機が置かれました。こげ茶のタイルの社屋と同じ色のボディに、業平の歌が書かれたかるたでお馴染みの肖像と、業平紹介の説明がついたユニークなものです。歴史探訪を兼ねて是非お立ち寄りください。京都市内第1号、府下3号機です。



## 京都創発事業に認定されました。

12月24日京都府庁にて山田啓二府知事より、平成22年度京都創発事業の認定をいただきました。これは、平成15年から始まったもので「時代を先取りして府民ニーズを素早く捉え京都府ならではのサー

ビスを実現する挑戦的な事業」に認められるものです。平成21年度までに128件で、今年度は23件が認定されました。講義や遺族講演等を通じて被害者も加害者も出さないまちづくり事業「京の絆2011」が認定されたものです。京都府警察警務課犯罪被害者支援室とともに認定され、代表として川本哲郎理事が知事より証書をいただきました。

## 講師の派遣 (平成22年4月～12月末)

様々なところから講師の依頼がありました。支援センターに求められているのは、被害者の心情を伝えることです。支援を通じて理解した被害者の気持ちを社会に訴え理解を深めてもらうことを願っています。

### ●被害者の心情について

- 京都家庭裁判所
  - (自転車盗) 4/22、5/27、6/24、8/26、9/30、10/28、11/25、12/16
  - (バイク盗) 7/21、10/6、12/21
- 京都拘置所 5/12、7/22、9/17、12/8
- 京都刑務所 6/24、6/30、11/25、12/10
- 浪速少年院 7/29

### ●支援活動について

- 京都府犯罪被害者施策市町村担当者研修会 (舞鶴) 5/18、(宇治) 6/29
- 府民講座(綾部) 8/7、(木津) 11/30
- やまがた被害者支援センター 5/27
- 被害者サポートセンターおかやま 9/4
- なら犯罪被害者支援センター 10/29
- 向町警察署 9/7、京丹後警察署 10/16
- 警察学校 10/16、宇治警察署 10/26
- 堀川警察署 12/8、京都市交通局 12/13
- 司法修習生(検察庁) 10/13 (弁護士会) 11/5



## センターの活動を支援してくださる皆様に心より感謝申し上げます

会費及び寄付を頂戴した方々を謹んでご報告申し上げます。センターの活動をご支援くださりまして誠にありがとうございます。なお、記載漏れ等がありましたら、お手数ですが事務局までご一報いただきますようお願いいたします。また、お名前の記載を望まれない方は、お申し出ください。

平成22年度会費納入者 <平成22年7月1日～12月31日>

(順不同・敬称略)

【正会員】218名

【賛助会員個人】683名





### 【賛助会員法人】

宝ホールディングス株式会社	株式会社島津製作所	株式会社 GS ユアサ
月桂冠株式会社	株式会社ワコールホールディングス	株式会社京都銀行
オムロン株式会社	京セラ株式会社	ニチコン株式会社
野崎印刷紙業株式会社	京都新聞社	TOTO 株式会社京都支店
社団法人京都府医師会	株式会社村田製作所	積水ハウス株式会社京都支店
ワタベウエディング株式会社	大和ハウス工業株式会社京都支店	丹後海陸交通株式会社
彌榮自動車株式会社	社団法人京都府トラック協会	社団法人京都府バス協会
株式会社堀場製作所	京都中央信用金庫	株式会社マイ
日本新薬株式会社	株式会社ピー・エス・アイ・コーポレーション	
学校法人京都女子学園	学校法人同志社	株式会社松原興産
株式会社井筒八ツ橋本舗	宗教法人壬生寺	ワタキューセイモア株式会社

### 【賛助会員団体】

京都府男女共同参画センター	春日住民福祉協議会	上京東部医師会
舞鶴防犯協会	全舞鶴交通安全協会	京都府警友会八幡支部
井手町社会福祉協議会	宇治田原町社会福祉協議会	舞鶴西地区更生保護女性会
綴喜郡民生児童委員協議会	京田辺市民生児童委員協議会	福知山防犯協会
社会福祉法人八幡市社会福祉協議会	上京犯罪被害者支援連絡協議会	上京地域暴力対策協議会
四条繁栄会商店街振興組合	五条防犯推進委員協議会	京都府上京警察署
社団法人京都府指定自動車教習所協会	京都府警察本部捜査第一課	亀岡犯罪被害者支援連絡協議会
下鴨交通安全協会	下鴨防犯協会	下鴨暴力追放協議会
京丹後防犯協会	京都府京丹後警察署互助会	洛友法律事務所
綾部交通安全協会	綾部防犯協会	京都府警察本部情報管理課
京都府福知山警察署課長会	中京区老人クラブ連合会	東山区シニアクラブ
東山料理飲食業組合	福知山交通安全協会	株式会社京都科学
京都府福知山警察署互助会	京都市地域女性連合会	財団法人京都府交通安全協会右京支所
京都府警察本部交通企画課親交会	右京防犯協会	京都府城陽警察署生活安全課

### 【寄付者】平成 22 年 7 月 1 日～12 月 31 日

大津市（旧）歩こうかい	株式会社藤田産業	京都府七条警察署
安食 務	平田武義	丸山 勝
匿名希望	大槻隆之	富名腰由美子
	氏名不明者	宮井久美子
		村田純江





## 第11回 犯罪被害者支援京都フォーラムの開催

自治体との連携による被害者支援  
～取組みと課題～

民間支援団体として平成10年にスタートした京都犯罪被害者支援センターは、平成12年に法人化、平成15年には早期援助団体として認可され、他機関からのご協力・連携を得て歩んでまいりました。

その間、被害者のニーズは拡大し、自治体や行政と今まで以上に、より密接な連携をとり、それぞれの役割を果たしていくことが求められています。

被害者のニーズに沿った支援を目指し、民間支援の特性を活かしきれる行政窓口、自治体の取組みについて考えるため、このフォーラムを開催します。

平成23年2月19日(土) 13:00～16:30

平安会館 1階 「平安」の間

京都市上京区烏丸通上長者町上る TEL(075)-432-6181

基調講演 「地方自治体による被害者支援の現状と課題」

太田 達也 氏(慶応義塾大学法学部教授)

パネルディスカッション

太田 達也 氏

河原 誉子 氏(内閣府犯罪被害者等施策推進室参事官)

杉浦 徹 氏(大阪府摂津市犯罪被害者相談員)

樋掛実喜雄 氏(京都市文化市民局地域づくり推進課担当課長)

吉田 誠司 (弁護士・京都犯罪被害者支援センター理事)

コーディネーター: 奥村 正雄(同志社大学大学院司法研究科教授・

京都犯罪被害者支援センター副理事長)

【参加費】 無料

【定員】 定員100名 定員になり次第受付終了

【後援】 京都府、京都市、京都府警察本部、京都弁護士会 いずれも申請中

【主催】 社団法人京都犯罪被害者支援センター

【問合せ・申し込み】 社団法人京都犯罪被害者支援センター 事務局

Tel・Fax **075-415-3008** 12:00～18:30

メール kvsc7830@mbox.kyoto-inet.or.jp